

1. 基礎情報

担当課名		教育指導課	
事業名	読書活動や学校図書館の整備・充実		
事業区分	継続事業		施策体系
会計区分	一般会計		2 子育てしやすく、だれもが成長できるまち
補助金等	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無		(2) 学校教育の充実
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他		② 学校教育
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 名称		取組No. 202
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(平成 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～継続) <input type="checkbox"/> 複数年度(平成 年度～平成 年度)		

2. 事業の概要

現状・課題	市内小中学校すべてに図書館司書を配置している。現在小学校11校、中学校7校に週7日、小中学校各1校に週3日配置している。今年度の学力・学習状況調査の結果、小学4年生の57.4%、中学1年生の43.4%が読書が好きと答えている。小学4年生では県平均を3ポイント上回っているが、中学1年生では1.6ポイント下回る結果となっている。これを踏まえ、児童生徒の感性を高め、人間性を育てていくために、読書活動の更なる充実が必要である。			
目的・意図	〔当該事業を実施することによって何をめざすか〕 各小中学校に週3日学校図書館司書を配置し、児童生徒の読書への関心を高め、将来的に読書の習慣を身につけさせる。そして感性を高め、豊かな人間性を育てる。			
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	市内小中学生 (対象数: 約10,500人)		
	総事業費 (平成29年度～平成31年度)	62,007千円		
各年度の概要※	・市内小中学校に学校図書館司書を週3日配置する。 (変更点)配置日数の増			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	・学校図書館司書を週3日配置(菅分小、あすか野小、光明中の3校) ・学校図書館司書を週2日配置(上記以外の16校) (6,710+400)×43日×51週 =15,592,230	・学校図書館司書を市内全小中学校に週3日配置 (6710+400)×57日×51週 =20,668,770	・学校図書館司書を市内全小中学校に週3日配置 (6710+400)×57日×51週 =20,668,770	・学校図書館司書を市内全小中学校に週3日配置 (6710+400)×57日×51週 =20,668,770
	事業費A (千円)	15,530	20,669	20,669
※国・県支出金				
起債				
その他の特財				
一般財源	15,530	20,669	20,669	20,669
職員従事者数(人・年)B	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費C=B×6,700千円	1,340	1,340	1,340	1,340
概算コスト A+C	16,870	22,009	22,009	22,009

※各年度の概要及び事業費は予算議案が確定する前のものが含まれています。

3. 必要性・有効性・効率性・発信性

(事業実施に当たって、具体的にどの程度市民ニーズがあるか、事業実施による効果や成果はどの程度か、事業費や職員従事者数等を踏まえて事業効率を図っているか、事業の先進性や独自性などシティブロモーションに寄与するかなど、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容を記入してください。)
児童生徒の読書離れを回避し、感性豊かな人材の育成が必要である。

4. その他特記事項

--